

(講座) 分子創薬科 (研究室) 薬品製造化学
(氏名) 石原 淳 (職名) 准教授

【研究テーマ】

1. 機能性天然有機化合物の合成に関する研究
2. 効率的有機分子構築法の開発に関する研究

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. J. Ishihara, O. Tokuda, K. Shiraishi, Y. Nishino, K. Takahashi and S. Hatakeyama: Synthetic Study on Clutiolide Based on a Remote Chelation Controlled Ireland-Claisen Rearrangement, *Heterocycles*, **80**, 1067-1079 (2010). (IF: 1.165)
2. M. Yoshino, K. Eto, K. Takahashi, J. Ishihara, S. Hatakeyama, Y. Ono, H. Saito, and N. Kubodera: Synthesis of 20-Epi-eldecalcitol [20-Epi-1 α , 25-dihydroxy-2 β -(3-hydroxypropoxy)vitamin D₃: 20-Epi-ED-71], *Heterocycles*, **81**, 381-394 (2010). (IF: 1.165)
3. S. Hatakeyama, M. Yoshino, K. Eto, K. Takahashi, J. Ishihara, Y. Ono, H. Saito, and N. Kubodera: Synthesis and preliminary biological evaluation of 20-epi-eldecalcitol [20-epi-1 α , 25-dihydroxy-2 β -(3-hydroxypropoxy)vitamin D₃:20-epi-ED-71], *J. Steroid Biochem.*, **121**, 25-28 (2010). (IF: 2.655)

B 欧文

(B-c) 著書

1. 石原 淳 ; チタンエノラートを用いる新しい反応計の開拓 : ネオダイシデニンの合成, *ファルマシア*, **46**, 886-887 (2010).

【学会発表】

A 国際学会

(A-a) 招待講演

1. J. Ishihara: Synthesis of Natural Products Utilizing Pericyclic Reaction, REGIO Symposium 30, Mittelwihl, France, Sep, 9 (2010)

(A-b) 一般講演

1. J. Ishihara, Y. Watanabe, N. Koyama, Y. Nishino, K. Takahashi, S. Hatakeyama: New variant of Reformasky-Claisen rearrangement mediated by indium chloride, 1211, The 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies, Hawaii, USA, Dec, 18 (2010).
2. S. Shibahara; T. Matsubara; K. Takahashi; J. Ishihara; S. Hatakeyama: Total synthesis of chloptosin, 2068, The 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies, Hawaii, USA, Dec, 19 (2010).

3. K. Eto, M. Yoshino, K. Takahashi, J. Ishihara, S. Hatakeyama: Synthetic study on the oxazolomycin family of compounds, 2104, The 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies, Hawaii, USA, Dec, 19 (2010).

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 芝原攝也、松原孝昌、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：クロプトシンの全合成に向けたピロロインドリンコア部の合成、28TF-pm03、日本薬学会第 130 年会、岡山、平成 22 年 3 月 28 日
2. 吉野円香、江藤康平、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：不斉有機触媒反応に基づくオキサゾロマイシン左セグメントの新規合成法の開発、29TG-pm01、日本薬学会第 130 年会、岡山、平成 22 年 3 月 29 日
3. 江藤康平、吉野円香、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：オキサゾロマイシンの合成研究、29TG-pm02、日本薬学会第 130 年会、岡山、平成 22 年 3 月 29 日
4. 浦辺郁也、永島俊介、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：Cinatrין C1 及び C3 の全合成研究、29TG-pm03、日本薬学会第 130 年会、岡山、平成 22 年 3 月 29 日
5. 芝原攝也、シャヒーン・サルカール、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：Phoslactomycin 類抗生物質の全合成、P-12、第 20 回万有福岡シンポジウム、福岡、平成 22 年 5 月 22 日
6. 江藤康平、吉野円香、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：インソマイシン及びオキサゾロマイシン類抗生物質の合成研究、38、第 52 回天然有機化合物討論会、静岡、平成 22 年 10 月 1 日
7. 芝原攝也、松原孝昌、高橋圭介、石原淳、畑山 範：ピロロインドリン含有環状ヘキサペプチド類の合成研究、20-05、第 36 回反応と合成の進歩シンポジウム、名古屋、平成 22 年 11 月 2 日
8. 松原孝昌、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：オフィオジラクトン類の合成研究、1C-01、第 27 回日本薬学会九州支部大会、長崎、平成 22 年 12 月 11 日
9. 吉野 円香、江藤 康平、高橋 圭介、石原 淳、畑山 範：不斉有機触媒反応に基づくインソマイシン類天然物の全合成、1C-02、第 27 回日本薬学会九州支部大会、長崎、平成 22 年 12 月 11 日
10. 浦辺郁也、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：シナトリン C1 及び C3 の合成研究、2C-01、第 27 回日本薬学会九州支部大会、長崎、平成 22 年 12 月 12 日
11. 白石和範、徳田宙久、高橋 圭介、石原 淳、畑山 範：クルチオリドの合成研究、2C-02、第 27 回日本薬学会九州支部大会、長崎、平成 22 年 12 月 12 日
12. 横井裕一、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：エングレリン A の合成研究、2C-03、第 27 回日本薬学会九州支部大会、長崎、平成 22 年 12 月 12 日

【研究費取得状況】

1. 特異な神経毒性を有する大環状アルカロイド、スピロライドの合成；文部科学省科学研究補助金 基盤研究(C) (代表) 平成 21 年度～23 年度

【学会役員等】

1. 第8回次世代を担う有機化学シンポジウム世話人

【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	62 編	(邦文)	0 編
総説 (欧文)	1 編	(邦文)	4 編
著書 (欧文)	1 編	(邦文)	6 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文)	0 編
特許	0 件		